

黒田庄まちづくり協議会より

地区防災計画改定連絡会開催 ★予告★

大規模な地震や豪雨災害が発生した際は、交通網の寸断・火災の同時多発などにより市や消防といった行政による「公助」だけでは十分に対応できない可能性があり、自分の身は自分で守る「自助」はもちろんのこと、地域における自主防災会、ボランティア、企業等が共に支え助け合う「共助」の精神が重要となります。

今回、各集落で改定する「地区防災計画」は、各集落における「自助」・「共助」の防災活動体制を構築することで地域防災力を高め、地域コミュニティを維持・活性化することを目的とします。

このため、来る7月26日(金)午後7時30分より黒っこプラザ大ホールに於いて、各集落の区長・民生委員・防災担当什長・消防委員などの出席により地区防災計画改定連絡会を開催します。

西脇市役所の防災安全課・社会福祉課・長寿福祉課から地区防災計画改定や災害時要援護者の個別支援計画の作成について説明を受けます。

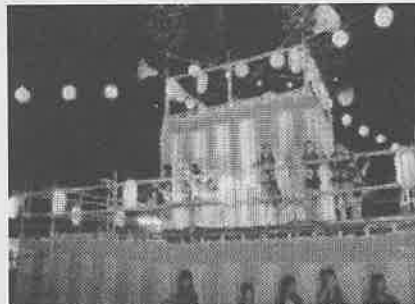
(くらし安心部会)

第42回にしわき市・黒田庄夏まつり開催 ★予告★

黒田庄まちづくり協議会の地域交流部会で夏まつり実行委員会を組織して、「第42回にしわき市・黒田庄夏まつり」を、来る8月16日(金)に黒田庄グラウンドにて開催することになりました。

この夏まつりは、西脇市民の交流の場を提供し、西脇市の活性化と黒田庄地区のまちづくりに寄与することを目的として開催します。

午後7時から会場内で地元特産品などが当たる福引用抽選券を先着1,600名様に配布します。



午後7時30分からは盆踊りが始まり、午後9時に夏まつりの夜空を飾る花火を打ち上げます。

また、夜店もたくさん出店されますので、夏の夜の思い出に友人・ご家族・ご近所お誘いのうえ、多数ご来場ください。

なお、会場周辺の駐車場は限りがありますので、近隣の方は徒歩で、遠方の方は乗り合いでお越しくださいますようお願いいたします。詳しくは、8月上旬の新聞折込みチラシをご覧ください。

(地域交流部会)

第158号7月

黒田庄まつり

編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
令和元年7月15日発行



黒田庄地区の人口

(R元.7.1現在)

男 3,258

女 3,462

計 6,720

世帯数 2,617

人口前月比 (-18)

(2)

(県道黒田庄多井田線改良関連工事)

「喜多のまんぷ(用水路)」百年ぶりの大改修 <喜多集落>

本紙(黒田庄つうしん)平成28年5月号で紹介された「喜多のまんぷ」が、このほど100年ぶりに改修されました。以下当時の記事を参照しました。

これは明治44年に完成した、喜多の墓地の南側、県道直下約7mを東西に横断する延長100m、幅1m、高さ1.6m前後の隧道のことです。

当時、喜多は天満宮周辺の森を開墾し水田をつくり、水の確保のため秋谷池大改修を行いました。その導水路の難所である墓地と城山の間は当初開削の計画でしたが、深さ7m以上(現在)の掘削のため、柴山への道の確保が困難として、トンネルを掘ることとなりました。

そこで、秋谷池改修の技術者であった喜多在住の石工・原田熊太郎氏が、屈強な若者6名と共に半年余りかけて手掘りで貫通したのがこの隧道でした。

その後100年が経過し、道路状況・交通状況も激変したため、各所に崩落が見られ、改修に迫られていたところ、今回の県道改良に併せ、道路下、農地下とも改修いただきました。

兵庫県及び西脇市には大きなご支援をいただきました。

また、農地の掘削にあたり、農家の方々にも大変なご負担とご協力をいただきました。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。



掘削当時



現在 隧道下流出口

あなたも黒田庄の歴史を学びませんか！

「歴史講座 黒田庄の考古学」開催のお知らせ <黒田庄の歴史を学ぶ会>

黒田庄町には、古墳や遺跡、城跡などが多数あります。考古学の成果で明らかになった最新の歴史を知ることができます。

- ★ 日 時 : 令和元年8月3日(土)13時30分～
- ★ 場 所 : 黒っこプラザ 研修室
- ★ 講 師 : 西脇市郷土資料館 岸本一郎氏
- ★ 参加費 : 無料

お問合せは、西田(090-9114-0973)・芝本(090-3031-6854)まで





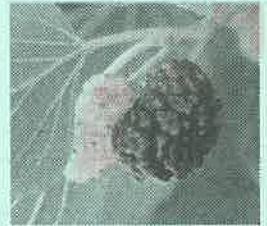
虹の会工房 就労継続支援B型事業所&生活介護事業所

最近気になること。それは普段とそんなに変わった動きをしたとも思えないのに、「しんどい・疲れた」と言う声を聞いたり、本当にちょっとしたことで、「つまづく・転びそうになる」ことを見かけたりします。皆が歳を重ねたせいかなと思ったり、運動する機会が少なくなったせいかなと思ったりします。また、食べ物も軟らかいものや甘いもの、インスタント食品に手をのぼしがちでカルシウムを摂る機会が少なくなったせいかなと思ったりもします。利用者さんが「しんどい・疲れた」と言うついでに体力を培う機会を減少させてしまいがちです。人生100歳の長い先を考えると、健康寿命を保つためには家庭と連携して「体力づくり」をコツコツ積み重ねなければと思います。

桑の実



散歩道の雑木の中に桑の木がありました。実を食べると少し酸っぱいけど甘さが口中に広がり優しい味でした。若い人は苦そうな顔をしていましたが、年配者は子どもの頃を思い出しながら美味しそうな笑顔でした。昭和の懐かしい風情がかもしていただきました。



<黒田庄こども園ニュース>

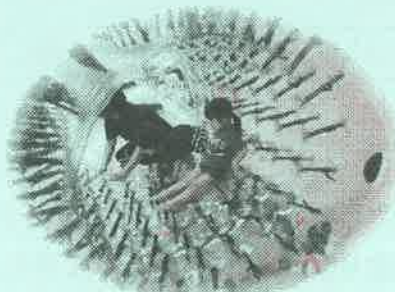
<地域に支えられ!!>

6月10日(月)、園近くの畑に、さつまいもの苗を4・5児が植えました。地元で農業をされている東野さんにお世話になりながら、150本の苗を植えました。「大きくな〜れ。」「おいしくな〜れ。」と、願いを込めて植えました。秋には、大きなさつまいもが収穫できると嬉しいな。

それまで、草引きや水やりもしないとね。楽しみで〜す!!



<イモの苗植え>



<サイバーホイール>

6月11日(火)には、みらいえから遊具(サイバーホイール等)をもって園にきてもらいました。2・3歳児が、遊戯室を使っているいろいろな遊びをさせていただきました。乗り物があったり、パズルがあったりと、園にはない遊び道具で、思いっきり遊ばせてもらいました。

また、今年度中にきてもらいます。楽しみです!

8月には、地域の子育て支援グループ「リンクスマイル」さんのご支援を受け、園内で人形劇を開催する予定です。(また、ご案内します。)

どんな人形劇になるか園の子どもたちも楽しみです。

こども園に登園していない地域のこどもたちも、この機会に園に来てくださいね。

この様に、黒田庄こども園は地域に支えられて教育・保育が推進できます。

<感謝・感謝です。本当にありがとうございます!>

(4)

黒田庄地区月間講演会のご案内 <黒田庄地区人権のまちづくり協議会>

西脇市では、8月を「人権文化をすすめる市民運動」推進強調月間と定め、さまざまな活動を展開しています。今年も講演会と小中学生による人権作文朗読を開催いたします。皆さまの参加をお待ちしております。

- ★ 日 時 : 令和元年8月28日(水)19:30~
- ★ 会 場 : 黒っこプラザ2階大ホール
- ★ 内 容 : 講演会・人権作文朗読
- ★ 参加費 : 無料



バイマー・ヤンジンさん

- 【講師】 バイマー・ヤンジンさん(チベット音楽家)
- 【演題】 チベットから嫁いで～日本での子育てと私の夢

人権作文朗読

- 楠 丘 小6年 森本菜月さん 『分かりあえる』
- 桜 丘 小5年 藤井稀羅さん 『友だちのキモチ自分のキモチ』
- 黒田庄 中3年 藤原さつきさん 『歴史から学べること』



【講師プロフィール】

1994年来日後、日本でただひとりの「チベット人歌手」として、チベットの音楽・文化・習慣などを紹介するため全国的にコンサート活動を行う。ユーモアたっぷりの語り口で、日本とチベットの文化の違い、家族のあり方など論じる講演も、多くの人々の感動と共感を呼び、教育関係・企業・学校等からも高い評価を得て、テレビ等で度々紹介されている。また、「故郷の子どもたちに教育を！」とはじめたチベットの学校建設活動も大きな成果をあげ、今では9つの小学校と1つの中学校が開校、日本とチベットの子ども同士の交流も積極的に行っている。

「親子わくわくタイム」開催のお知らせ <リンクスマイル>

来月、黒田庄こども園にて「親子わくわくタイム」を開催いたします！
地域の親子のみなさんも、ぜひお越しください。

- ★ 日 時 : 令和元年8月23日(金)10時30分～(45分間)
- ★ 場 所 : 黒田庄こども園
- ★ 内 容 : 人形劇(おやゆび姫さんによる)
年齢別おたのしみタイム



※詳しくは「黒田庄つうしん」8月号にて

編集後記

すったもんだで、ついに締め切りの7月8日になってしまいました。原稿手配に四苦八苦の所を、喜多地区のS区長さんに助けていただき、ようやく体裁を整える段取りが出来ました。やれやれです。まったく感謝以外の念にありません。本当にありがとうございました。

さて、当人居住のO集落とS区長さんの喜多集落とは、歴史的に水争いの当事者どうしで、近年では「蛍の墓」の撮影時にも騒動があがったそうです。その歴史的に水を求めた証として「まんぷ」の記事を、8月3日の「しいの橋開通式」にて思いはせていただきたらと思います。思えば喜多集落から城山を見上げてあまり変化は見えないですが、当O集落から城山を見ると、ついに片っぼだけの山になってしまいました。強い後押しがあり開通となったと思いますが、播磨風土記にも記載のある歴史的遺物でもありますので、もう少し方法があったのではないかと思います。残念でなりません。

T.F